

「快適・省エネ・安心、そのすべてが体感できる住まい」 高性能住宅に暮らして、わかったこと。

今までの 家選び



住宅性能より
まずは、自分たち好みの
デザインや間取りを
最優先した住まい！



これからの 家選び

断熱・環境性能の
高い住宅に住むことが
自分たちの『生活の質』の
向上につながる！



Interview

実際に暮らし始めてから感じた“体感温度の違い”や
“家計の変化”など、これから家づくりを考える方にとって
ヒントとなる、Aさんのリアルな声をお届けします。

Customer's VOICE

お話を伺ったオーナー様 東京都 Aさん

家族4人+愛猫で2年ほど前から、全館心地よく、さらに光熱費も抑えられる「高性能な住まい」で暮らすAさんご家族。「快適性とエコな暮らしを両立した理想の住まい」と嬉しそうに話されていました。



高性能住宅で手に入れた、 家族みんなの健やかな暮らし。

私たちが手に入れたのは、断熱等級6 (UA 値 0.34・C 値 0.13・BEI 0.40) の住まいです。毎日が、本当に快適です。

ここは2階にエアコンが1台あるだけです、それを稼働するだけで、1階まで住まい全体が涼しくなります。玄関や廊下も暑くなることはなく、帰宅した瞬間から「ほっとする」心地よさがありますね。

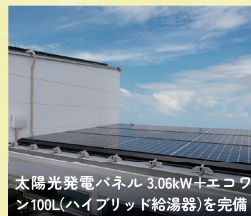
冬も同じで、家の中が冷えにくく、暖房を強くしなくても快適に過ごせます。以前暮らしていた住まいでは、冬は朝から床暖房をつけないと、寒くて歩けませんでした、今はその必要がまったくありません。家族みんな健康的に暮らせています。

マイホームを買うときは、資料に書いてある「金額」などだけで判断せずに、住宅性能などもしっかり調べて、まずは「快適さ」を体感してみてください。住まいの快適さって、体験してみないと分からないんですよね。とにかく行動を起こすことが、後悔しない家選びにつながると思います。



「太陽光+断熱性能」で、 お財布にもやさしい暮らし。

我が家には、太陽光発電 (3.06kW) も搭載しています。以前住んでいたマンション時代から光熱費 (電気・ガス料金) を正確に記録していたのですが、現在の新居の光熱費と比較すると、大幅に抑えられています。驚くほどの差がありびっくり。環境にもお財布にも優しい住まいです。



太陽光発電パネル 3.06kW+エコウォン100L(ハイブリッド給湯器)を完備

Builder's VOICE

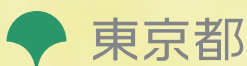
Aさんの家を建てたビルダー
セイズ株式会社
代表/及川達也さん



設立以来、高性能住宅の普及に取り組み地元・葛飾区を牽引してきた工務店。

住宅性能を正しく伝えるために。 東京都建築物環境報告書制度の役割。

省エネ性能や断熱性能は、暮らしの質を左右する重要な要素でありながら、購入検討段階では見えにくく、理解されにくいのが現状です。こうした性能を数値として明示するのが「東京都建築物環境報告書制度」です。建物の環境性能を一定の基準で整理・報告する仕組みで、情報の可視化を通じて、住宅の性能比較や選択を促進する効果が期待されます。単に義務として捉えるのではなく、私たち工務店にとっても「性能の質」を信頼とともに発信する絶好の機会なのです。



クール・ネット東京
東京都地球温暖化防止活動推進センター

ワンストップ相談窓口
03-5990-5236

詳細については、
「燃費のいい家
こちよ暮らし」で
紹介されています。>>

